

そこが聞きたい!!

一般質問

一般質問のようすは、インターネットで配信をしています。2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます。(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は2年間です)

一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。12月定例会では、13名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。

成年後見制度・安心サポートネットを利用しやすく!

大沢 えみ子 (日本共産党)



録画配信の
2次元コード

◆「成年後見制度」について

①認知症の方や障がい者の方などが権利擁護のため利用できる「成年後見制度」について、利用促進のため「中核機関」が設置されたが、親族が後見人になる場合や、なった後の相談にも応じてもらえるのか。

②市民後見人養成講座について、家族後見人、法人後見の支援員向けなど、目的別の講座にして具体的な研修を行う考えは。

長寿健康部長 ①申立てをする際の書類の作成などの支援のほか、親族が後見人となった後も適切な後見活動ができるよう支援している。

②市民ニーズや講座修了後の受講者の状況を踏まえた講座の実施も視野に入れつつ、法が求める市民後見人が養成されるよう取り組んでいく。

◆「あんしんサポートネット」について

日常的な金銭管理や通帳の預かりなどを行う社会福祉協議会の「あんしんサポートネット」について、必要とする人が利用できる体制を作るため、市としての援助が必要では。

長寿健康部長 福祉サービス利用援助事業については、社会福祉協議会の自主事業であるが、市が委託する中核機関の業務と密接に関連していることから、権利擁護事業として一体的に支援していきたいと考えている。



成年後見センターのパンフレット

その他のテーマ▶**期日前投票所の利用状況**
▶**施設等で指定投票所を増やす取り組み**

市長が決裁した年度協定書は、到底納得できるものではない

金子 広和 (はつらつ創造)



録画配信の
2次元コード

◆議会に対し謝罪と受け止められる答弁、再発防止を提言

ふれあい健康センター(サピオ稲荷山)の令和元年度と2年度の光熱水費の差額は13,704,039円であるが、5月の臨時会では9,564,145円と答弁。今回の質問で回数券の払い戻し費用約420万円(実績は0円)を除いた金額だと判明したが、この件に関して議会への説明は一切なし。議会に対し何かを隠す思惑があったのかと疑惑を抱くとともに、事実とは異なる答弁であり虚偽答弁に該当するのではと大変危惧するが、この約420万円の差額分の答弁を不適正だと認め、議会に対し真摯に謝罪をすべきだと強く感じるが見解は。

長寿健康部長 この件に関しては虚偽の答弁をしたものではないが、回数券の払い戻しの費用

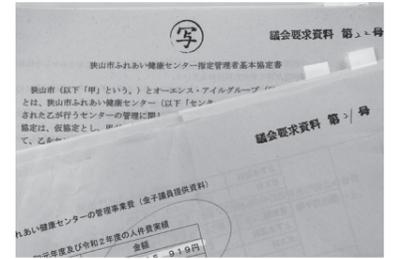
について説明すべきであったと考えている。今後、十分に説明を尽くすよう努めていく。

◆基本協定書では130万円を超える修繕は市の負担

同施設の令和3年度修繕実施計画書では、4項目の見積額が130万円を超え指定管理料に含まれるも議会への報告はない。

「年度協定書第4条に基づき」との答弁だが、基づくのか疑問、個人的には、議会軽視であり適正な支出であったのか疑問を抱くが、年度協定書を最終的に決裁したのは小谷野市長か。

長寿健康部長 所管部長・副市長を経て最終的に市長が決裁した。



請求資料調査により疑惑を感じた

学校部活をみんなで支える! 持続可能な部活動体制を!

笹本 英輔 (改進黨)



録画配信の
2次元コード

◆部活動顧問教員の悲惨な状況。休日出勤にもならず、手当は県の最低賃金未満

平日、休日の部活動顧問に対する手当の支出状況は。

学校教育部長 部活動顧問に対する手当については、平日は支給されず、休日は学校職員の特殊勤務手当として1日3時間程度の指導で2,700円が支給されている。



現場の声を聴き、的確な支援を

◆令和5年度から部活の地域移行が始まる。準備不足では?

地域移行に伴う部活動支援への財源確保に向けた考えは。

学校教育部長 費用負担においてさまざまな課題があるが、部活動に必要な財源については、今後、国や県の動向や拠点地域での研究成果などに注視しながら研究を進めていきたい。

◆教育長・市長は学校部活動を持続可能とする最大限の努力を

教育長、市長の部活動支援に対する考えは。

教育長 今後、国や県の動向、拠点地域での研究結果、生徒や家庭の声をきちんと受け止めながら研究を進めていきたい。

市長 国の方向性を踏まえながら、学校の現場、生徒の状況、家庭の声を耳を傾けて、寄り添いながら、市としてよりよい学校の部活動が展開できるように支援を行っていきたい。

次の地域交流センターは水富・柏原地区へ

福田 正 (改進黨)



録画配信の
2次元コード

◆未利用の市有地について

市が所有する未利用地のうち、水富地区において公共施設を整備できるような広さを有する場所はあるか。

総合政策部長 公共施設等総合管理計画に掲載している未利用地のうち、狭山市広瀬二丁目地内の狭山消防署広瀬分署の南側に一団の用地が存在している。

◆地域特性による公共施設などの整備

①地域特性により、公共施設などの規模や配置に違いがあると思われるが、市の認識は。

②水富・柏原地区において、地域交流センターや公共施設を早期に整備する考えは。

総合政策部長 ①まちづくりの方向性や地域特性に応じ、人口や施設の利用対象者などの人的バランスや行政区を踏まえた地域バランスなどを考慮しながら整備している。

市民部長 ②狭山市立公民館と狭山市地区センターの地域交流施設(仮称)等への再編に関する計画において、公共施設等総合管理計画及び公共施設再編計画を踏まえ、各地区センターの大規模改修や建替えなどの時期を捉えて検討していくこととしており、入曽地域交流センターにおける再編後の成果や課題などを取りまとめ、検証した上で、あり方について検討を進めていく。



水富・柏原へ地域交流センターを

ここに掲載していない一般質問の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご覧いただけます。FAXか郵送でお届けしますので、議会事務局にご連絡ください。04-2953-1111 内線3313